



# 笑顔に満ちたまちづくりに向けて

羽幌町長 舟橋 泰博

町民のみなさま、あけましておめでとございます。

輝かしい新春を、みなさまと迎えることができましたことを、心からお慶び申し上げます。

みなさまには、日頃よりそれぞれの分野でご活躍をされ、町の活性化のためにご尽力を頂いておりますこと、さらに、町政に対しご理解とご協力を頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。

思えば昨年は、一昨年より続いた燃料の高騰や景気の低迷により、引き続き厳しい状況にありましたが、各事業所における営業(作業)の圧縮や他燃料の活用、各家庭での防寒対策など、それぞれが経営努力や節

約を重ね、相当なご労苦により困難を乗り越えられてきたと存じます。

本町の1年を振り返りますと、財政事情が厳しい中ではありますが、みなさまのご理解をいただき、長年の懸案事項であった特別養護老人ホームの改築や、羽幌中学校の耐震化の設計に着手し、将来に向けた公共施設の整備がスタートした年となりました。

また、数多くのプロ野球選手を輩出する大学野球界の名門であります「亜細亜大学硬式野球部」による夏季合宿が行われました。その間、選手のプレーを一目見ようと、たくさんの方がグラウンドを訪れ、激励の言葉をかけていただき、さらには自転車貸し出しへのご協力など、みなさま

の「あたたかい気持ち」をいっそう感じた年でもありました。

さて、本年は本町と友好町村の関係を継続しております。富山県砺波市「たいら地域」との交流が30年を迎える年でもあります。これまで人や文化を通じた様々な交流事業を行ってきましたが、今後も交流を継続し、地域を支える新たな力の育成に努めます。

そして、みなさまと職員が手を携え、知恵と力を注ぎ、子どもからお年寄りまで誰もが安心して暮らすために、本町が抱える医療過疎の問題、産業振興策、老朽施設への対応など、たくさん課題の解決と進むべき「まちづくり」に向け、まい進していく所

存でございます。

どうか本年も、みなさまが何よりもご健康でありますように、

各産業において、一年間の安全操業が確保され、豊作・豊漁に恵まれた実り多い明るい年になりますように、そして、多くの方々の本町を訪れ、地域の購買力が向上されますこと、さらには、みなさまが笑顔で過ごすことのできる1年でありまして、新年を心からお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。